

挑戦者本人に聞く、その発端からブレークスルーに至る夢と苦闘の道のり

2020年度後期「イノベーションフォーラム21」 Since 1982

— 激変する時代環境と科学・技術本流、日本の特色と強みを生かしたイノベーションの追求 —

※ イノベーションフォーラムは、今日、リアルミーティングとオンラインミーティングが併催され、時間と距離、地域と場所の制約を取り払ってどこからでも自由にご参加いただけるようになりました。

と き・講 師

ご 依 頼 テ ー マ ・ 概 要

1

2020年

11/27
(金)

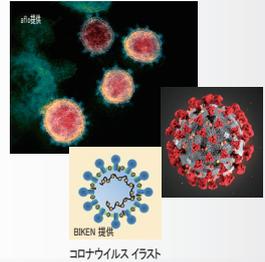


山西弘一氏

一般財団法人 阪大微生物病研究会 理事長
大阪大学 名誉教授

『新型コロナウイルス ワクチン開発の最前線、世界の状況と今後の見通し』

新型コロナウイルスの感染が世界で再拡大している。阪大微生物病研究会(BIKEN財団)は独自のバイオ技術・ワクチン開発で日本発・世界初の画期的生物学的製剤開発に挑んで来た。6月、日本医療研究開発機構(AMED)の医療研究開発革新基盤創成事業(CICLE)に係る公募研究開発課題「新型コロナウイルス感染症対策」で、同財団の「新型コロナウイルスワクチンの開発」が採択された。今回、オールジャパンによる新型コロナウイルスワクチン開発の必要を訴える山西弘一理事長より、日本の開発現況と世界の状況を伺う。



BIKEN提供
コロナウイルスイラスト

2

12/10
(木)



藤井茂樹氏

ヤマハ(株)
執行役 IMC事業本部長 兼 技術本部長

感動を呼んだ、AIによる美空ひばり、グレン・ゲールド復活への挑戦 『AIはどこまで人の心を動かせるか、ヤマハが挑んだVOCALOID:AIの開発』

「感性の視点からAIを音楽創造の(美空ひばりの再現に努めたAI研究者) (Glenn Gould AI チーフ)可能性を広げる新たなきっかけと理解し、様々な取り組みを進めている」と藤井氏は言う。同社開発の「VOCALOID AI」が再現した「美空ひばり」、「グレン・ゲールド」による感動はまだ記憶に新しい。大道竜之介氏 才野慶二郎氏 前澤 陽氏



NHKスペシャル AIでよみがえる 美空ひばり
「VOCALOID AI」による美空ひばり、グレン・ゲールドの音楽表現にAIで追ったコンサート

3

2021年

1/13
(水)



岡田陽介氏

(株)ABEJA
代表取締役社長 CEO 兼 共同創業者

『AIで世界を牽引するテクノロジーパイオニア ABEJAの挑戦』

世界経済フォーラム 2020年テクノロジー・パイオニアにABEJAが選出。代表の岡田陽介氏は「大変光栄。いち早くディープラーニングの可能性に着目し、ABEJA Platformなどの提供を始め、幅広い企業のAI導入支援を通じて社会の改善に寄与していることが評価されたと受け止めている」とコメント。「ABEJA Platform」とは、事業のAI化に不可欠な工程を一貫して実装可能とする開発プラットフォーム。2018年、米Google社より日本で初めて出資を受けた。「イノベーションで世界を変える」が岡田氏の合言葉。



機械と人間が共創し合う世界

4

2/26
(金)



津田 雄一氏

JAXA 宇宙科学研究所 准教授
はやぶさ2 プロジェクトマネージャー

太陽系の誕生と海水、生命起源の秘密に迫ることをミッションとした 『はやぶさ2の帰還、前人未到/Uターンで新たな小惑星へ向う更なる10年の旅立ち』

2014年12月、「はやぶさ2」が目指した小惑星「リュウグウ」には、太陽系が生れた頃(約46億年前)の水や有機物が残されていると考えられている。地球の水はどこから来たのか、生命を構成する有機物はどこで出来たか。そのような秘密に迫ろうとするのが「はやぶさ2」の目的。2019年7月、史上初の地下サンプル採取に成功。今年12月、試料入りカプセルを地球に届けた後、「はやぶさ2」は残った燃料で更に10年をかけ、Uターンで前人未到の新たな小惑星探査へ旅立つ。この総責任者が津田雄一氏。



はやぶさ2 帰還(イメージ)

5

3/10
(水)



島田 太郎氏

(株)東芝 執行役上席常務 最高デジタル責任者
東芝デジタルソリューションズ(株) 社長

『IoT・AI分野の強みを融合した、東芝のCPS(Cyber Physical Systems) Technology企業への挑戦』

CPS(Cyber Physical System)とは実世界(フィジカル)の凡ゆるデータをデジタル技術で解析・分析・理解(サイバー世界)し、実世界にフィードバックすることで新たな世界を創造する仕組みをいう。「CPSで一番重要なのはデジタルビジネスモデル」という。製造現場で培ってきた知識・経験・技術と産業分野でのデジタル・トランスフォーメーションをはじめとしたIoT・AI分野での強みを融合。ビジネスに新たな付加価値を生み出して社会の更なる発展に貢献しようとしている。その中核が氏。



「TOSHIBA OPEN INNOVATION FAIR 2019」にて

6

4/15
(木)



石川 裕氏

国立研究開発法人 理化学研究所
計算科学研究センター
フラグシップ2020 プロジェクトリーダー

世界ランキング1位、AI処理能力等、4部門で世界一(世界初)を達成した 『スーパーコンピュータ「富岳」の開発経緯』

2014年、「京」の後継機として理化学研究所・富士通の共同開発で始まったスーパーコンピュータ「富岳」は、「ISC 2020年度スーパーコンピュータ世界ランキング」、「コンピュータ演算速度」、「AI処理能力」、「ビッグデータ分析性能」の4部門で何れも2位に大差をつけて世界1位を獲得。神戸市ポートアイランドの理化学研究所 計算科学研究センターに設置。日本の技術力と可能性を示した。4部門同時に1位を獲得したのは「富岳」が最初。今、理研で「富岳」による新型コロナウイルス対策への研究開発が始まった。



スーパーコンピュータ「富岳」



入交 昭一郎 氏
(有)入交昭一郎 代表
元本田技研工業(株) 代表取締役 副社長
元株式会社 センタープライゼス 代表取締役 社長・会長

◆毎回の基本スケジュール
13:30~14:30 講演(前半)
14:30~15:00 コーヒーブレイク
15:00~16:00 講演(後半)
16:00~17:00 Q & A

◆会場(リアルミーティング)
(公財)国際文化会館 212
東京都港区六本木5-11-16
東京理科大学森戸記念館
東京新宿区神楽坂4-2-2

◎ 詳細ご案内を、毎回、事前にお届けいたします。
◎ オンラインでご参加の方のご質問は毎回チャットで伺い、後刻、講師よりお応えいたします。

新経営研究会
<http://www.shinkeiken.com>